

**AJ65VBTCFJ1-32DT1 形 CC-Link システム小形タイプリモート I/O ユニットユーザーズマニュアル  
AJ65VBTCFJ1-32DT1 CC-Link System Compact Type Remote I/O Module User's Manual**
**●安全上の注意 ●**  
 (ご使用前に必ずお読みください)

本製品のご使用に際しては、本マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って、正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

本マニュアルで示す注意事項は、本製品に関するもののみについて記載したものであります。シーケンサシステムとしての安全上のご注意に関しては、使用するCPUユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

この「安全上の注意」では、安全注意事項のランクを「△警告」、「△注意」として区分しております。

△警告 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

△注意 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合。

△注意 なお、△注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に、必ず最終ユーザへお届けくださいようお願いいたします。

**[設計上の注意事項]**
**△ 警告**

● データリンクが交信異常になったとき、交信異常局は次のような状態になります。交信状態情報を使って、システムが安全側に働くようにシーケンスプログラムでインターロック回路を構成してください。誤出力、誤動作により事故の恐れがあります。

(1)モード1 I/O局からの入力は、全点 OFFします。

(2)モード1 I/O局からの出力は、全点 OFFします。

● リモート I/Oユニットの接続によっては、出力が ON の状態を保持したり、OFF の状態を保持することができます。重大な事故につながるような出力信号については、部外で監視する回路を設けてください。

**△ 注意**

● ユニットは、CPUユニットユーザーズマニュアル記載の一般仕様の環境で使用してください。範囲外の環境で使用すると、感電、火災、誤動作、製品の損傷、あるいは劣化の原因になります。

● ユニットは、DINレールまたは受けネジによって、確実に固定し、受けネジは規定トルク範囲内で確実に締めてください。ネジの締付けがゆるいと、落下、短絡、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損になります。

● 各接線や通信ケーブルは、主回路や動力線などへ接続したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

● ユニットの導体部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

● 空端子ネジは必ず拧付けねルク範囲(0.42~0.50N·m)で締めてください。圧着端子と短絡する原因になります。

● 圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

● ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

● 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。

● ユニット内に切片や配線クランプなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

● ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクリップによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかつたり、クリップによる固定処理を行っていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因になります。

**[取付け上の注意事項]**
**△ 注意**

● ユニットの導体部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

● ユニットは、DINレールまたは受けネジによって、確実に固定し、受けネジは規定トルク範囲内で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下、短絡、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損になります。

● 各接線や通信ケーブルは、主回路や動力線などへ接続したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

● ユニットの導体部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

● 空端子ネジは必ず拧付けねルク範囲(0.42~0.50N·m)で締めてください。圧着端子と短絡する原因になります。

● 圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

● ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

● 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。

● ユニット内に切片や配線クランプなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

● ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクリップによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかつたり、クリップによる固定処理を行っていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因になります。

● 各接線や通信ケーブルは、主回路や動力線などへ接続したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

● ユニットの導体部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

● 空端子ネジは必ず拧付けねルク範囲(0.42~0.50N·m)で締めてください。圧着端子と短絡する原因になります。

● 圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

● ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

● 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。

● ユニット内に切片や配線クランプなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

● ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクリップによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかつたり、クリップによる固定処理を行っていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因になります。

● 各接線や通信ケーブルは、主回路や動力線などへ接続したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

● ユニットの導体部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

● 空端子ネジは必ず拧付けねルク範囲(0.42~0.50N·m)で締めてください。圧着端子と短絡する原因になります。

● 圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

● ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

● 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。

● ユニット内に切片や配線クランプなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

● ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクリップによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかつたり、クリップによる固定処理を行っていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因になります。

● 各接線や通信ケーブルは、主回路や動力線などへ接続したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

● ユニットの導体部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

● 空端子ネジは必ず拧付けねルク範囲(0.42~0.50N·m)で締めてください。圧着端子と短絡する原因になります。

● 圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

● ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

● 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。

● ユニット内に切片や配線クランプなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

● ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクリップによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかつたり、クリップによる固定処理を行っていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因になります。

● 各接線や通信ケーブルは、主回路や動力線などへ接続したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

● ユニットの導体部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

● 空端子ネジは必ず拧付けねルク範囲(0.42~0.50N·m)で締めてください。圧着端子と短絡する原因になります。

● 圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

● ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

● 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。

● ユニット内に切片や配線クランプなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

● ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクリップによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかつたり、クリップによる固定処理を行っていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因になります。

● 各接線や通信ケーブルは、主回路や動力線などへ接続したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

● ユニットの導体部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

● 空端子ネジは必ず拧付けねルク範囲(0.42~0.50N·m)で締めてください。圧着端子と短絡する原因になります。

● 圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

● ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

● 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。

● ユニット内に切片や配線クランプなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

● ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクリップによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかつたり、クリップによる固定処理を行っていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因になります。

● 各接線や通信ケーブルは、主回路や動力線などへ接続したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

● ユニットの導体部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

● 空端子ネジは必ず拧付けねルク範囲(0.42~0.50N·m)で締めてください。圧着端子と短絡する原因になります。

● 圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

● ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

● 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。

● ユニット内に切片や配線クランプなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

● ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクリップによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかつたり、クリップによる固定処理を行っていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因になります。

● 各接線や通信ケーブルは、主回路や動力線などへ接続したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

● ユニットの導体部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

● 空端子ネジは必ず拧付けねルク範囲(0.42~0.50N·m)で締めてください。圧着端子と短絡する原因になります。

● 圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

● ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なる電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

● 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。

## 2. 使用周囲温度

本製品は、0 ~ 55 °C の範囲でご使用ください。

## 3. 取付け方向と最大同時入力点数の制約

仕様に記載されている最大同時入力点数は、取付け方向により変わります。

- (1) 図 3.1 の取付け方向の場合、周囲温度が 55 °C のとき最大同時入力点数は 65%になります。  
(図 3.6 ディレーティングカーブ参照)
- (2) 図 3.2 ~ 図 3.5 の取付け方向の場合、周囲温度が 55 °C のとき最大同時入力点数は 40%になります。  
(図 3.7 ディレーティングカーブ参照)

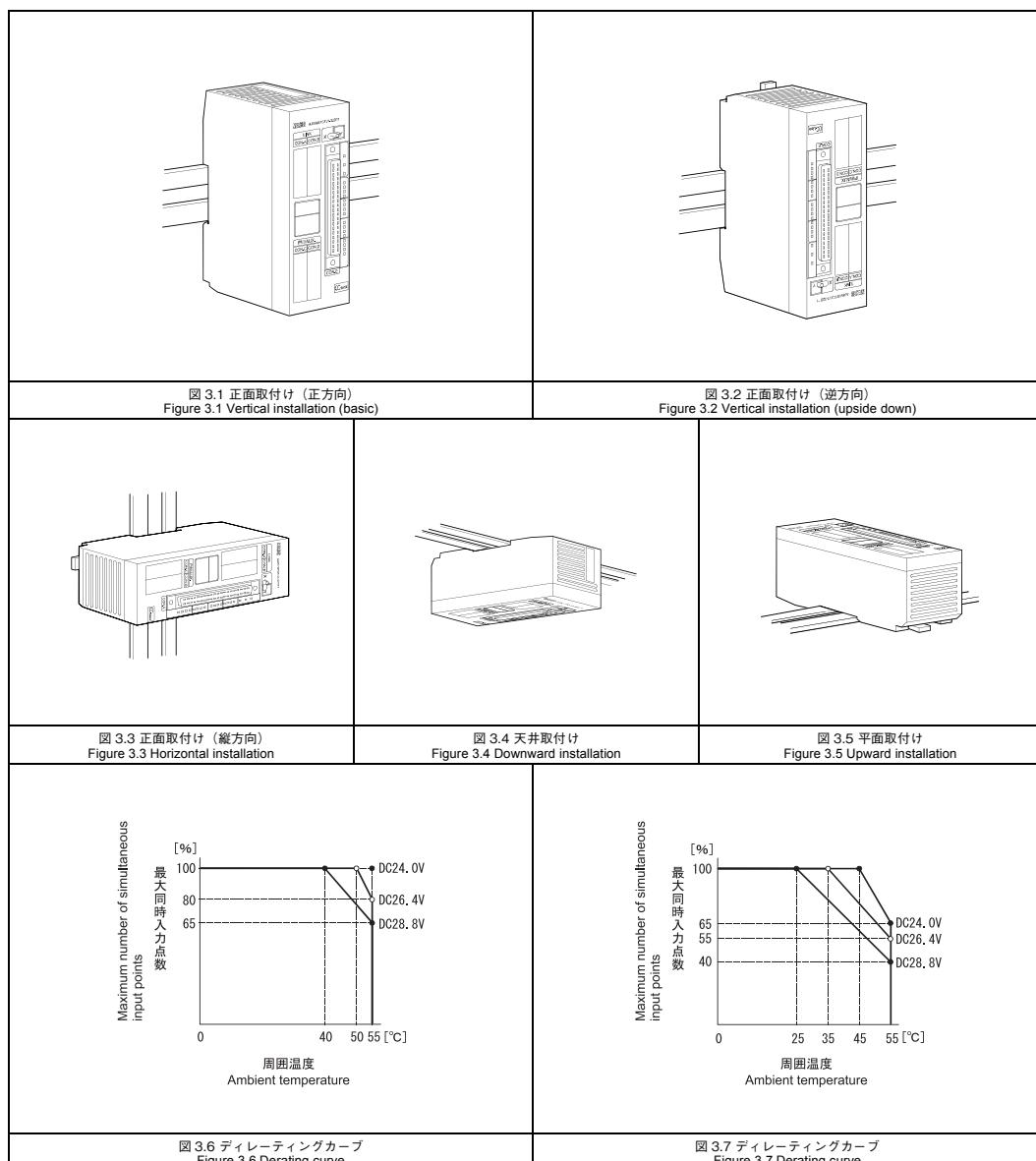
## 2. Operating Ambient Temperature

Use the module in the ambient temperatures of 0 to 55 °C.

## 3. Installation Orientations and Limits on the Maximum Number of Simultaneous Input Points

The maximum number of simultaneous input points described in the specifications changes according to the installation orientation.

- (1) When the module is mounted as shown in Figure 3.1, the maximum number of simultaneous input points is reduced to 65% at an ambient temperature of 55 °C.  
(Refer to the derating curve in Figure 3.6.)
- (2) When the module is mounted as shown in Figure 3.2 to 3.5, the maximum number of simultaneous input points is reduced to 40% at an ambient temperature of 55 °C.  
(Refer to the derating curve in Figure 3.7.)



## 4. 仕様

項目	内容
入力点数	16 点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧	DC24V (リップル率 5% 以内)
定格入力電流	約 5mA
使用電圧範囲	ユニット電源と共通
最大同時入力点数	100% / 40% (第 3 章参照)
ON 電圧 / ON 電流	DC15V 以上 / 3mA 以上
OFF 電圧 / OFF 電流	DC3V 以下 / 0.5mA 以下
入力抵抗	約 4.7kΩ
応答時間	OFF → ON 0.2ms 以下 (DC24V 時) ON → OFF 0.2ms 以下 (DC24V 時)
入力形式	プラスコモン (シンクタイプ)
出力点数	16 点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧	DC24V (リップル率 5% 以内)
使用負荷電圧範囲	ユニット電源と共通
最大負荷電流	0.1A/1 点、1.6A/1 コモン
最大突入電流	0.7A、10ms 以下
OFF 時漏洩電流	0.1mA 以下
ON 時最大電圧降下	DC0.1V 以下 (TYP.) 0.1A, DC0.2V 以下 (MAX.) 0.1A
出力形式	シンクタイプ
保護機能	過負荷保護機能、過電圧保護機能、過熱保護機能
応答時間	OFF → ON 1ms 以下 ON → OFF 1ms 以下 (定格負荷、抵抗負荷)
出力部外部供給電源	ユニット電源と共通
サーボドライバー	ツェナーダイオード
コモン方式	32 点 1 コモン (FCN コネクタ 1 線式)
占有局数	1 局 - 32 点割付け (32 点使用)
電圧	DC24V (リップル率 5% 以内) (許容電圧範囲 DC20.4 ~ 28.8V)
電流	50mA 以下 (DC24V、全点 ON 時) 外部負荷電流はありません
ノイズ耐量	DC タイプのノイズ電圧 500Vp-p、ノイズ幅 1μs、 ノイズ周波数 25 ~ 60Hz のノイズシミュレータによる
耐電圧	DC 外部端子 - 插 - アース間 AC500V 1 分間
絶縁抵抗	DC 外部端子 - 插 - アース間 DC500V 絶縁抵抗計にて 10MΩ 以上
保護等級	IP1XB
質量	0.16kg
通信部	通信用ワントッピングコネクタ (5 ピン : 広接タイプ、コネクタ用プラグは別売) : A6CON-LJ5P (オプション) 通信用オンラインコネクタ : A6CON-LJ5P
電源部	電源用ワントッピングコネクタ (5 ピン : 広接タイプ、コネクタ用プラグは別売) : A6CON-PW5P-A6CON-PW5P-SOD (オプション) 電源用オンラインコネクタ : A6CON-PW5P 入出力用コネクタ (40 ピンコネクタ) (M3 ネジ) 入出力部
適用 DIN レール	適合ケーブル : FANCI-10SBH, FA-CBL200PSBH, CS-110
適合電線サイズ	電源・FG 用 0.66 ~ 0.98mm <sup>2</sup> (AWG18) [φ2.2 ~ 3.0mm (A6CON-PW5P), φ2.0 ~ 2.3mm (A6CON-PW5P-SOD)] 素線径 0.16mm 以上 被覆材質 : PVC (耐熱ビニル)
入出力用コネクタ	• 0.08 ~ 0.3mm <sup>2</sup> (AWG28 ~ 22) より線 (A6CON1, A6CON4 の場合) • 0.08 ~ 0.2mm <sup>2</sup> (AWG28 ~ 24) より線 (A6CON2 の場合) • 0.08mm <sup>2</sup> (AWG28) より線、φ 0.25mm (AWG30) 単線 (A6CON3 の場合)
適合入出力用コネクタ	A6CON1 (ハンダ付けタイプ), A6CON2 (圧着タイプ), A6CON3 (圧着タイプ), A6CON4 (ハンダ付けタイプ)

\* 1 40 本使用時は被覆外径 1.3mm 以下の電線を使用してください。

ご使用の電流値に合った電線を選定してください。

## 5. 改正中国 RoHS による電器電子製品中の有害物質使用制限表

### 「电器电子产品有害物质限制使用标识要求」の表示方式



Note: This symbol mark is for China only.

含有有害物质的名称、含有量、含有部品

本产品中所含有的有害物质的名称、含有量、含有部品如下表所示。

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷基板	×	○	○	○	○	○
外壳	○	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。

○: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

×: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。

